



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 本州化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 良幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和智 達也

TEL 03-3272-1482

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,463	11.3	1,425	191.5	1,386	190.2	809	320.6
25年3月期第3四半期	11,194	△9.6	488	△66.4	477	△66.7	192	△75.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,479百万円 (267.3%) 25年3月期第3四半期 402百万円 (△33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	70.53	—
25年3月期第3四半期	16.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	24,583	14,955	54.1	1,159.38
25年3月期	19,861	13,660	62.2	1,076.57

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,308百万円 25年3月期 12,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,900	15.7	1,400	92.9	1,350	89.1	750	117.9	65.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	11,500,000 株	25年3月期	11,500,000 株
26年3月期3Q	20,636 株	25年3月期	19,442 株
26年3月期3Q	11,479,721 株	25年3月期3Q	11,481,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）における経済環境は、新興国での成長鈍化など海外経済の減速化の動きがみられたものの、国内経済は、政府の金融緩和や経済政策に対する期待感から円安と株高が進み、企業収益や個人消費の改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、当社グループは、原材料価格の高騰により収益が圧迫される中で、当社主力製品の需要先であるIT関連機器・デジタル家電分野において薄型テレビやパソコン等の需要が低迷するなど、引き続き厳しい事業環境のもとに置かれることとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、収益の改善と向上を図るため、既存コア製品の拡販や新規製品の開発促進と市場への早期投入に注力するとともに、和歌山工場の合理化を始めとした経営全般にわたるコスト競争力の強化に全力を挙げて取り組んでまいりました。

その結果、売上高は12,463百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は1,425百万円（同191.5%増）、経常利益は1,386百万円（同190.2%増）、四半期純利益は809百万円（同320.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として、主に中国及び欧州向けに輸出されております。

当第3四半期においては、需要の低迷により販売数量が前年同四半期に比べ微減となりましたが、原料価格の値上がりや為替変動の影響等により販売価格が上昇したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

・その他のクレゾール誘導品

第1四半期及び第2四半期（平成25年4月～9月）において需要の低迷により販売が不調であったメタクレゾールや精製BHTは、第3四半期（平成25年10月～12月）に入り需要の回復が見られ、これら製品の拡販に努めた結果、「その他のクレゾール誘導品」の総売上高は、前年同四半期を上回りました。

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン・携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料として使用されております。

前年同四半期においては、ユーザーサイドでの大幅な生産・在庫調整により需要が大きく減退しましたが、当第3四半期においては、本格的な需要回復には至らないまでも、前年同四半期にみられたユーザーサイドでの大幅な生産・在庫調整が行われなかったことから、販売数量が増加し、売上高は前年同四半期を上回りました。

・ビスフェノールF

ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は、加工性と金属接着性に特に優れており、ノンハロゲンタイプの難燃性積層板や粉体塗料等の土木・建設材料用途に使用されております。

当第3四半期においては、土木・建設材料用途向けの堅調な需要を背景に販売が好調に推移するとともに、原料価格の値上がりにより販売価格が上昇したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は5,225百万円（前年同四半期比11.4%増）、総売上高に占める割合は41.9%となり、セグメント利益は250百万円（前年同四半期はセグメント損失218百万円）となりました。

<機能材料>

・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用されております。

フォトレジストの需要先であるIT関連機器やデジタル家電分野では、薄型テレビやパソコン等の需要が当第3四半期においても依然として低調のまま推移したことから、半導体用及びLCD用のいずれも販売数量が減少し、売上高は前年同四半期を下回りました。

・感光性ポリイミド材料

感光性ポリイミド材料は、半導体素子の表面保護膜に使用される感光性ポリイミド樹脂向けの材料であり、従来品の添加剤のほか、新規用途向けとして開発した感光性ポリイミド樹脂用原料は、ユーザーのニーズに応えた高付加価値商品として、今後の需要拡大がおおいに期待されております。

当第3四半期においても、添加剤向けの感光性ポリイミド材料の販売が、世代交代の影響により低調のまま推移したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

当社の特殊ビスフェノールを用いた樹脂は、優れた耐熱性や光学特性を有することから、この特殊ビスフェノールは、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

当第3四半期においても、引き続き光学部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂原料用を中心に需要が堅調に推移したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、2,391百万円（前年同四半期比2.6%減）、総売上高に占める割合は19.2%となり、セグメント利益は411百万円（同12.3%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車用部品向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売されており、当第3四半期においては、引き続き需要が堅調に推移するとともに、為替変動の影響により販売価格が上昇したため、売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

・受託品

受託数量が減少したものの、総売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

この結果、工業材料部門の売上高は、4,733百万円（前年同四半期比20.0%増）、総売上高に占める割合は38.0%となり、セグメント利益は1,235百万円（同156.1%増）となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は113百万円（前年同四半期比8.4%増）、総売上高に占める割合は0.9%となり、セグメント利益は30百万円（同21.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4,721百万円増加し、24,583百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加（766百万円）、売掛金の増加（63百万円）、商品及び製品の増加（1,332百万円）等により、前連結会計年度末に比べて2,197百万円増加し、12,205百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少（596百万円）、建設仮勘定の増加（3,010百万円）等により、前連結会計年度末に比べて2,523百万円増加し、12,377百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（1,159百万円）、未払法人税等の増加（361百万円）、長期借入金の増加（1,756百万円）等により、前連結会計年度末と比べて3,426百万円増加し、9,627百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（625百万円）、為替換算調整勘定の増加（321百万円）等により、前連結会計年度末に比べ1,295百万円増加し、14,955百万円となりました。

この結果、自己資本比率は54.1%となり、前連結会計年度末に比べて8.1ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表しました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,090	2,856
売掛金	3,986	4,049
商品及び製品	2,595	3,927
仕掛品	289	356
原材料及び貯蔵品	619	665
その他	427	349
流動資産合計	10,008	12,205
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	4,539	3,942
建設仮勘定	2,442	5,453
その他（純額）	2,177	2,285
有形固定資産合計	9,159	11,681
無形固定資産	14	22
投資その他の資産	679	674
固定資産合計	9,853	12,377
資産合計	19,861	24,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289	2,449
短期借入金	1,000	1,275
未払法人税等	73	435
役員賞与引当金	16	12
その他	1,124	1,036
流動負債合計	3,504	5,208
固定負債		
長期借入金	1,448	3,205
退職給付引当金	1,089	1,064
役員退職慰労引当金	79	51
その他	78	97
固定負債合計	2,696	4,418
負債合計	6,201	9,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	9,866	10,492
自己株式	△11	△12
株主資本合計	12,367	12,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	34
為替換算調整勘定	△40	280
その他の包括利益累計額合計	△8	315
少数株主持分	1,300	1,646
純資産合計	13,660	14,955
負債純資産合計	19,861	24,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,194	12,463
売上原価	9,429	9,638
売上総利益	1,764	2,825
販売費及び一般管理費	1,276	1,399
営業利益	488	1,425
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	3
受取補償金	—	14
還付所得税等	1	7
その他	18	6
営業外収益合計	44	31
営業外費用		
支払利息	13	20
固定資産除却損	13	42
その他	27	7
営業外費用合計	55	69
経常利益	477	1,386
税金等調整前四半期純利益	477	1,386
法人税等	182	492
少数株主損益調整前四半期純利益	295	893
少数株主利益	102	83
四半期純利益	192	809

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295	893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	105	583
その他の包括利益合計	107	586
四半期包括利益	402	1,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252	1,133
少数株主に係る四半期包括利益	149	345

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,690	2,454	3,944	11,089	105	11,194	—	11,194
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,690	2,454	3,944	11,089	105	11,194	—	11,194
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△218	469	482	733	25	758	△269	488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△269百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△269百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,225	2,391	4,733	12,349	113	12,463	—	12,463
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,225	2,391	4,733	12,349	113	12,463	—	12,463
セグメント利益	250	411	1,235	1,898	30	1,928	△503	1,425

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△503百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△503百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。